

## 第2回西葛西小避難所開設・運営訓練準備会記録

1 日 時 平成26年8月30日(土) 15:00~

2 会 場 西葛西小学校 2階 図書室

3 会次第

(1) 校長あいさつ

(2) 江戸川区 危機管理室 防災危機管理課 防災係長あいさつ

(3) 避難所開設手順について 校長

(4) 質疑応答

4 参加者

- ・グリーンヒル西葛西1号館自治会長 ・グリーンヒル西葛西2号館自治会長
- ・ライオンズプラザ西葛西自治会長 ・ライオンズマンション小島町自治会長(代理)
- ・小島町会 会長 ・バームハイツ西葛西自治会長・エヴァーグリーン西葛西管理組合
- ・ローズガーデンラフィール西葛西理事長(代理)
- ・西葛西小学校PTA会長 ・西葛西小学校PTA副会長
- ・区危機管理室防災危機管理課防災係2名 ・区非常配備態勢要員班長
- ・校長 ・副校長 ・生活指導主幹

(欠席)

- ・バームハイツ西葛西二番館自治会長 ・コスモアージュ西葛西管理組合理事長
- ・サンマンションアトレ管理組合理事長

5 会議録

○避難所に400人以上(定員以上)の避難者が来たらどうするか。→避難所を必要とする人数は限定される見通し。帰宅困難者や一時的避難者、電気が止まっている間エレベーターが止まって高層階に住んでいる方などもいる。避難所の補完施設として学校以外の区の施設を使うこともある。

○400人以上で、避難所に入れないということを誰が中心となって告げるのか。

→避難所の運営部長あるいは、協議会長がルールを示して告げるべきである。

→(事例)発災直後は避難者が多いので、1×2mに1人の割合で定員を計算しているが、2, 3日は1×2mに2, 3人の割合で入れて、余震がおさまリ自宅へ戻る人が出てきたら定員に戻していく。それでも定員を超えている場合は、区の補完施設へ案内する。

○要介護者、女性などの優先順位を決めておく必要がある。(マニュアルに記載)

○負傷者は、医者に見せたり、病院に連れて行ったりする。けがの程度を見取るのが難しい。足をくじいたといっても、歩行困難であれば要介護者に準じていく。大きなけがの場合は救急搬送を依頼する。

○設定した店員388人を超えたときは、お断りをする。後から来た人は補完施設へ。

→避難者は、どの地域からでも受け入れる。葛西地区は火災危険度が低いので、火災にあった地域の人がかかることも考えられる。

○マンションに自治会と管理組合がある時、区からの連絡は自治会にくるが、管理組合は住民が100%入っているの、管理組合の方がよいのではないか。→自治会は自主組織としてしっかりしている。地域の代表としてとらえられる。しかし、決定権があるなら管理組合でもよい。

○自治会長が管理組合理事長と相談したところ、まず、住民名簿、備蓄品を準備することや住民全員であたる必要があるということになった。しかし、住民に危機意識が低い。住民に危機意識を喚起する必要がある。防災係に災害時の説明をしてもらう。

○災害時の備蓄物資は、この付近ではプールガーデンを拠点として避難所に運ばれるが、道路が使えないときは、ヘリコプターを使えるようにしてほしい。→各避難所への幹線道路復旧は優先して行う。

○物資は都から来るが、早くて3日かかる。それまで、各家庭、自治会、町会等で自助努力をし

ていく必要がある。→孤立地帯になってしまうかもしれないという危機意識をもつことも必要である。

○自助と共助が必要である。

○荒川にある船着き場（10か所）は緊急物資を運ぶことを想定している。

○避難勧告と避難指示は、どのような違いがあるのか。→避難勧告は注意情報で、避難指示はとにかく避難してくださいという絶対命令である。注意報、警報、特別警報は気象庁から出すが、避難勧告と避難指示は行政が出す。判断が難しいが、都から江戸川区(長)に助言がある。

○江戸川区の洪水ハザードマップを見ると、西葛西は荒川の堤防が決壊したとすると2～5mの洪水になる。その想定は変わらない。地震と台風が一緒にくるような複合災害となると堤防決壊も考えられる。

○江戸川、荒川の上流の豪雨があったらどうなるか。→豪雨が降った上流でまず被害が出るのが予想され、避難勧告、避難指示を検討していく。

○キティ台風、キャスリーン台風の時、1週間水がひかなかったことをみんなが知っておく必要がある。→当時は下水道がなかったという状況もある。

○近隣住民がみんな避難してきたら避難所に入りきれない。場合によって、近隣マンションの志集会室等をかいはうするような手だてもあってよいのではないか。→西葛西地区が水没するというような予測がでたら、区外への避難も検討する。国や都とも連携し、住民の受入先、移動手段を考えていく。

○今後、自治会に学校が避難所として開設されるということを伝えていく。

○各自治会、町会で具体的に決めてくることは何か。→避難所運営要員として、各自治会、町会から2、3名人員を出す。

○次回は、避難所運営協議会長をはじめとして、運営協議会の組織を話し合う。

次回の準備会は9月20日(土)に行う。